

## 平成26年度カリキュラムの注意点 —平成25年度入学者向け説明資料—

情報科学類カリキュラム委員会  
2014年3月

1

## 一般的なこと

- 新カリキュラムの2年次科目は、平成26年度が初年度。
- 新設科目や、従来とは大幅に内容が違う科目がある。
  - 情報科学概論Ⅱ
  - データ構造とアルゴリズム、同実験
  - システムプログラミング序論
  - オブジェクトプログラミング実習
  - 専門英語基礎演習(2年次英語必修科目)

→先輩等の情報のみならず、**平成25年度入学者向けに配布された資料の正確な情報に基づいて履修計画を立ててください。**

2

## 個別科目について1

- 専門英語基礎演習(2年次英語必修科目)
  - 外国語センターで開設
  - 原則として、情報科学類のクラス指定がある科目(春、火曜6限)を履修のこと。
  - やむを得ぬ理由、もしくは、春学期に単位を落とした場合などは、指定以外のクラスで受講できる。
- 情報科学概論Ⅱ(必修)
- データ構造とアルゴリズム、同実験(必修)
- システムプログラミング序論(必修)
  - これら3科目は、**情報科学類における学習の基幹となるきわめて重要な内容をカバー**。しっかり学習して単位を落とさないように。
- オブジェクトプログラミング実習
  - オブジェクト指向の概念を実践的に身につけることができる科目。

3

## 個別科目について2

- 解析学Ⅲ
  - 平成25年度は開講されなかったが、平成26年度(以降)は開講。
- コンピュータ数学
  - 平成26年度から標準履修年次が1年次となる(未履修の学生は、2年次以上でも履修可能)。
- 技術英語
  - 名称変更のみ(昨年度までは「技術英語Ⅰ」)
- 技術英語Ⅱ(3年次向け)
  - 旧カリキュラムの科目なので、平成25年度以降の入学者が履修しても**卒業単位にならない**。

4

## そのほか

- 1年次必修科目で未履修の科目は、できるだけ今年度履修すること。
  - 必修科目で未履修のものがあったとしても3年次進級の可能性はあるが、3年次の実験や体育と時間割が重なり、4年次まで持越しになり、卒業に大きな支障をきたす。
- 3年次への進級の条件
  - 「主専攻の選択条件」という名称で、入学年度の履修要覧の細目表別表第2(情報科学類ウェブページに掲載)に記載。
- この機会に、もう一度履修要覧の関係部分を読んでおくこと。
  - 履修単位数上限の緩和条件、早期卒業条件、4年次進級要件など。

5

## GPA制度と成績評価

6

## 成績評価

- 平成25年度からの変更
  - 成績の評語に「A+」が追加
    - **A+ 90点～**、A 80点～、B 70点～、C 60点～、D～59点
  - 成績分布の目標
 

「情報科学類の全体(合計)で、「A+」と「A」の合計比率が、**おおむね4割以下**となるようにする。」と規定。

7

## GPA (grade point average)制度

- 学生ごとの総合成績を点数化して通知
  - all A+の学生は4.0、all Aなら3.0など。
  - 一度「D」であった科目を再履修して合格しても、前の成績はGPA計算対象にはいる。
- GPA計算対象の科目
  - フレッシュマンセミナー、**基礎科目の関連科目**、教職科目は、**計算対象から除外**。それ以外の科目すべてが計算対象。
- GPAの活用法
  - 情報科学類学務委員会が決定して学生向けに周知。

8

## まとめ

情報科学類のカリキュラムの情報

<http://www.coins.tsukuba.ac.jp/>

→ 「在学生・教員向けTOP」

→ 「授業科目・時間割」

- 時間割、履修要覧(卒業要件、新旧要件のページ)、開設授業科目一覧、学年暦カレンダーなどへのリンクあり。

問い合わせ先:

カリキュラム委員会

[curriculum-ga@coins.tsukuba.ac.jp](mailto:curriculum-ga@coins.tsukuba.ac.jp)

あるいは、支援室 学務担当職員

9